

中村元記念館通信 第2号

平成24年10月10日、松江市八束町に新しく誕生した中村元記念館。中村元って誰？ 何をした人？ インド思想って？ ひよこ学芸員秋鹿が、わかりやすくをモットーに、中村元博士や仏教やインド思想について紹介していきます！

「われわれは歴史的事実をめざすのである。歴史的人間としてのゴータマ・ブッダが、やはり生まれて、生きて、そして死んだ一人の人間でありながら、『人間』を超えていたところに、われわれはその偉大さとありがたみを感じるのではなからうか」(中村元『学問の開拓』ハーベスト出版 2012)

インド思想と仏教の研究者・中村元博士は、古代インドの原始仏教に深い関心を持っていました。仏教の歴史は紀元前5世紀頃、インド北部のシャカ族の王子ゴータマ・ブッダから始まりました。その後世界中に広まる中で、ブッダはどんどん神格化され、仏教の教えも複雑になっていきました。日本でもお寺は細かい宗派に分かれていて、教義は宗派によって違い、お経は漢字ばかりですごく難しそうですね。でも古代インドで記された、ブッダやブッダの弟子のことばを伝える原始仏典には、難しい仏教用語も、複雑な教義もありません。ブッダは神様のような存在ではなく、苦しみに満ちたこの世界で、人々がどのように生きるべきかをわかりやすいことばで教えてくれる「道を示す者」なのです。

インドの大学で博士号を授与される中村博士



中村元博士は、当時日本で中心的だった宗派仏教の研究ではなく、仏教の始まりである「ブッダとはどのような人間で、何を語ったのか」を明らかにしようとした。そのため博士は、原始仏教を生み出したインドの歴史や生活を詳しく調べ、仏典を原語から解釈し、読みやすい日本語に翻訳しました。これによって、誰でも気軽に読めるようになったのです！今号は博士が訳した原始仏典のことばから、博士を魅了した仏教の根底にある教えを見ていきたいと思います。

「過去を追わず、未来を願わず、およそ過ぎ去ったものは、すでに捨てられたのである」(『中部経典』Vol.3,187頁)

仏教といえばまずこれ。この世界のあらゆるものは、永遠ではなく常に変化し、やがて消え去るという「諸行無常」の理。ブッダは何度も何度もことばを変えて、この諸行無常を訴えます。全てのものがいずれ消えゆくものと理解すれば、人は「執着」から解放されることができるからです。

ブッダはこの世界のあらゆる苦しみが「執着」することから生まれると考えました。何かに執着するから、失うことを恐れる、失って悲しむ、手に入らなくて悩む、手に入れようと争いが起こる、思い通りにならなくて憤る……執着を捨てれば、こうしたあらゆる苦しみを感じなくなるというわけです。いわゆる煩惱がない状態ですね。でも無関心や無気力になることとは違います。失ったものや、今持っているもの、まだ手に入れてもいないものに心を乱されることなく、今の時に自分がすべきことを精一杯やる。仏教が伝えたいことは、そういうことだと思います。

博士の本棚 ② 中村元博士の本を紹介するコーナー

中村元訳『ブッダのことば』『真理のことば・感興のことば』(岩波書店 1984年/1978年)

原始仏教の仏典は、パーリ語やサンスクリット語などインドの古い言語で書かれました。これらの仏典は、中国で漢語に翻訳されてから日本に伝わりました。そのためインドの言語→漢語→日本語と重訳されることで、教えの内容が正しく伝わらないこともありました。さらに仏典とは荘重で神聖なものと考えられていたので、あえて難解で、古めかしく訳されました。

しかし中村元博士は、仏典は人々に真理を説いたものであり、ブッダが民衆に口伝で語ったことばであるため、耳で聞いただけで、誰でも意味を理解できなければならないと考えました。『ブッダのことば』『真理のことば』『感興のことば』は、インド最古級の仏典です。人がどのように生きるべきかを、自然現象や動植物にたとえてわかりやすく説く古代インドの知恵の結晶を、博士の易しい翻訳で味わってください。

サブカル仏教入門②

仏教に関するサブカル作品を紹介していきます。仏教関係者様に怒られませんように。

恋の真言唱えてみせるの♪ この想いあなたにとどけ♪ 衆生済度の教えを心に♪
五十六億七千万年後に愛してる♪ 護法少女ソワカちゃん♪



波羅僧羯論菩提ソワカちゃん



今回紹介するのはニコニコ動画でカルト的人気を誇る神動画ならぬ仏動画、kihirohito氏のオリジナルアニメ『護法少女ソワカちゃん』。VOCALOID初音ミクの歌声に乗せて繰り広げられる、仏教系女子ソワカちゃんの冒険譚。マサカドインパクトによって西日暮里を除く東京が壊滅した近未来、二胡堂寺の住職の娘ソワカちゃんは、大好きなパパの死の真相を求めて、弟分の小坊主クーヤンと共に旅立ちます。お大師様にあやかって通販で買った五銖杵を手に、邪教グルグル教団との戦いが始まる……！ kihirohito氏の脱力系イラストで描かれる、濃すぎるキャラクター達が織り成す笑いと感動の物語。

歌詞と映像の随所にこれでもかと詰め込まれた小ネタは、仏教学、宗教学、哲学、文学、歴史学、芸術学、オカルトまであらゆる分野にわたり、その博識ぶりに圧倒されます。深〜い仏典のことばも満載！ 回を追うごとにめきめき上達する動画のクオリティにも注目です。

動画はこちら→<http://www.nicovideo.jp/watch/sm1235394>
kihirohito氏のブログ→<http://blog.livedoor.jp/kihirohito/>
または「護法少女ソワカちゃん」で検索!!



ダイヤモンドの光が輝かせることを祈るの



愛してくれなまめ仏門下るわよ

「怯えているものでも、強剛なものでも、長いものでも、大きなものでも、中くらいのものでも、短いものでも、微細なものでも、粗大なものでも、目に見えるものでも、見えないものでも、遠くに住むものでも、近くに住むものでも、すでに生まれたものでも、これから生まれようと欲するものでも、一切の生きとし生けるものものは、幸せであれ」

(『ブッダのことば』146)

もう一つ、仏教の教えの根底にあるのは「慈しみ」です。「慈しみ」は古代インドのパーリ語では元々「友情」を意味することばでした。ブッダは友だちを大切に思うように、この世のあらゆる生きものを大切にすべきだと説いたのです。

この考えのすごいところは、人間に限らず、それこそ目に見えないものまで、本当にあらゆるものの幸せを願うところ。さらに願うだけでなく、寝てる間以外は、立ってる時も座ってる時も歩いている時も、常に慈しみのところを起こして他者をたすけなさいとブッダは説きます。たすけるといっても大げさに構える必要はありません。たとえばいつも笑顔でいる、人に優しい言葉をかける、誰にでも敬意をもって接する、席を譲る、そんなささやかな行いで他者のところを和ませる…… たったそれだけで、慈しみのところは実践できるのです。

「慈しみと平静とあわれみと解脱と喜びとを時に応じて修め、世間すべてに背くことなく、犀の角のようにただ独り歩め」

(『ブッダのことば』73)

ほとけさまを表す文字 梵字の秘密②

読めなくてもまったく困らないでも読めるとちょっとカッコイイミステリアスな文字「梵字」



「梵字」とは、古代インドのことば「サンスクリット語」を書き記すための文字のこと。今号の梵字「𑖀」(バン)は「大日如来」の種字。大日如来は真言密教やチベット密教などでは、宇宙の中心であり、宇宙のあらゆるものに存在し、また宇宙そのものであると考えられています。

あなたの中にも私の中にも、大日如来は存在しているのです。密教の宇宙観では、世界は金剛界と胎蔵界から成り立っており、「𑖀」が金剛界、「𑖀」(アーク)が胎蔵界の大日如来を表します。両方覚えておきたいところですね。

中村元記念館サポーター募集中！詳しくはお問合せください

発行日：平成25年2月24日
発行：NPO法人中村元記念館東洋思想文化研究所
作成者：中野秋鹿(中村元記念館学芸員)
〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060
松江市役所八束支所2F 中村元記念館
Tel.0852-76-9593 / Fax.0852-76-9693
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp

中村元記念館メール会員募集中

中村元記念館の最新情報をお届けします！
右のQRコードを読み取るか
form@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
まで空メールを送信してください！
PC・スマホ・携帯どれでもOK。詳しくはHPへ
<http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/>

